

10

Apr.2022

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2021-22



GOVERNOR

Hirotsada Yoshioka

OFFICE

Kobe Portopia Hotel 722,6-10-1,
Minatojima-Nakamachi, Chuo-ku,
Kobe, Hyogo, 650-0046, Japan





ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ
過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

本年度の表紙

2021-22年度表紙は、伊丹市の風景や歴史、文化、産業等々を多様な側面から紹介する予定です。伊丹市の持つ魅力や意外性を少しでも感じていただけたら幸いです。

撮影者のプロフィール

中島勝美氏
1951年伊丹市生まれ。
大学卒業後、現在まで植木の販売に携わる。
1992年6月、伊丹ロータリークラブ入会
2010-11年度 伊丹ロータリークラブ会長

ROTARY'S CORE VALUES

The world today is not the same as it was when Rotary was founded in 1905. Demographics have shifted, the pace of change has accelerated, and technology has created new opportunities for connection and service. What hasn't changed is a need for the values that define Rotary:

**FELLOWSHIP, INTEGRITY, DIVERSITY,
SERVICE, LEADERSHIP**

By honoring our past and embracing our future, we can evolve and keep Rotary not only relevant, but thriving.

今月の表紙

伊丹市昆虫館

伊丹市昆虫館（いたこん）は、伊丹市のほぼ中央、「冬の渡り鳥の飛来地」「野鳥のオアシス」として有名な、「昆陽池公園」の一角に、市制50年を記念して、1990年11月に開館しました。それ以来、「いたこん」から、100万種を超える生物多様性の申し子とも言える昆虫の魅力あふれる世界を、ユニークな切り口でどんどん発信しています。

本年度、伊丹ロータリークラブでは、「いたこん」ならでの「体験」を通じて自然の「魅力」を再発見してもらうため、約55cmという近距離でもピントが合わせられ、マクロ（拡大）鑑賞が可能な双眼鏡を地区補助金を活用して100台寄贈しています。この双眼鏡を通して、新たな驚きの世界が広がります。



CONTENTS

月信10号

GOVERNOR'S LETTER.....	1	クラブ管理運営委員会より.....	11
地区大会速報.....	3	地区補助金（奉仕プロジェクト）報告.....	12
公式訪問随行者より.....	4	コーディネーターニュース（3月号）.....	14
2023学年度		2月の地区活動記録.....	15
ロータリー米山記念奨学金学校説明会.....	5	新会員紹介.....	16
米山記念奨学生特集.....	5	ご寄付ありがとうございます.....	16
2022年地区チーム研修セミナー.....	8	ガバナー事務所からのお知らせ.....	17
2022年会長エレクト・		訃報.....	17
幹事エレクト研修セミナー.....	9	会員数報告	
東播第3グループIM.....	10		
西播第1グループIM.....	10		

国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 吉岡博忠 (伊丹)

桜花咲く季節 会長・幹事様にはお変わりなくご健勝でご活躍のことと存じます。

「桜」の季節に思いをいたしますのは、公式訪問卓話でご紹介いたしました、正師・故深川純一PDGが、2017年伊丹クラブ週報に投稿された一節「花は散るから美しい 七日で散るから潔い 万朶の桜なればこそ 人は死ぬから美しい 美しくて潔い」を最後に入院、2019年ご逝去されたからであります。未だ自身の至らなさに反省の日々を過ごしております。

2月23日117回ロータリー創立記念日の翌日、2月24日、ロータリーの最も大切な月「平和構築と紛争予防月間」にロシアのウクライナ侵攻があり、原発への攻撃は、ヨーロッパ全土へ戦争拡大し、ロシアへの各国の経済制裁等々から世界戦争の様相を呈しています。国際ロータリーは即日強い声明を発信しました。これに基づいて、人道支援についての取り組みを発信させていただきました。ご協力ご支援をお願いいたします。

【環境】

ロータリー7つ目の重点分野「環境」について述べさせていただきます。今年度「環境の保護小委員会」を立ち上げ、取り組みについての研究をしていただきました。

謙虚なロータリアンの心の底には、私たち人類は「地球」＝「自然」に生かされている（活かされている）という考えがありながら、「環境問題」は解決できる気がしない。「何とかし

なくてはいけない」とは思いつつも、「何をすればいいのか分からない」とお考えではないでしょうか。そこでまず「環境問題」を他人事でなく自分事として捉えるようになりたいと思います。

都市化した私たちの環境を、どのようにして自分の中に感覚としての「自然」を取り戻せるのかを、情報や知識としてではなく、これから継続して、感覚として「自然」を取り入れることの大切さを共に学びたいと考えます。ではその「自然」を守るために、私たちは何をすべきなのでしょう。具体的にできることは何でしょうか。このような大きな問題に一個人ができることはあるのでしょうか。皆さまも私同様、このような疑問をお持ちであると思います。

「5%が変われば、社会は変わる。人は微力だが無力ではない」という言葉があります。これは私たち地域・職域のリーダーであるロータリアンが真に受け止める言葉であると思います。「環境」への取り組みもこの言葉が当てはまります。20人のクラブで1人、50人のクラブで3人、200人のグループで10人、2,600人の地区で130人が情熱を持った行動力で、大きく前進するものと確信しています。これは「環境」だけにとどまらず、全てのロータリープログラムにあてはまると考えます。

私たちロータリアンの仲間は、正に「人材の宝庫」です。その入口であるクラブ例会から、IM、地区大会、国際大会へと続き、世界のロータリアンとつながっています。全てのロータリアンはこの世界の学びの場で交流できる権利を持っています。この大きな「親睦」と「学び」の場を、皆さま共々存分に活かしたいと存じます。



【3月5日・6日 地区大会ご参加御礼】

2021-22年度日本ロータリー新たな世紀の門出の年の地区大会に、見識高い2680地区の皆さまと一緒できたことを誇りに思いますとともに深く感謝申し上げます。

オンラインではありましたが、2日間の開催は3年ぶりとなります。会員皆さま全員のご登録に御礼申し上げます。おかげさまで2日間開催により全てのプログラムを実施することができました。

兵庫県知事・齋藤元彦様よりお祝いのビデオメッセージを賜り、伊丹市長・藤原保幸様には、わざわざのご来駕のうえ、ご祝詞を賜りました。また、三木明ロータリー財団管理委員・元RI理事にRI現況報告をお願いしましたところ、ご快諾いただき御礼申し上げます。

ロータリー研修セミナーでは、2840地区群馬の田中久夫PDGより「ロータリーの魅力を伝えよう」と題してご講演を賜り、皆さまに大きな刺激を与えていただきました。

特別講演として、第26代京都大学総長・総合地球環境学研究所所長・山極壽一様から「ゴリラからの警告とコロナ後の社会」と題してご講演いただき、皆さま共々大きな学びの場となりました。また3年ぶりに「ロータリーファミリーの集い」を復活開催し、青少年関係の皆さまとの意義ある交流の場といたしました。

過去2年間は急遽オンラインによる1日開催地区大会でしたが、今年は可能な限り従前の2日間の全てプログラムを実施すべく準備に取り組んで参りました。地区大会を運営いただきました実行委員会の皆さま始めスタッフの皆さまに感謝の意を表します。

【今年度末にむけて】

在任期間9か月の内、4か月がCOVID-19緊急事態、蔓延防止期間でありました。過去2年間中止を余儀なくされた地区のプログラムを復活させながら、全てのプログラムを予定通り進行させていただいております。各クラブ会長・幹事様のご協力の賜とあらためて深く感謝申し上げますとともに、残任期間3か月、引き続きご鞭撻賜りますよう宜しくお願いいたします。



3月5・6日開催の地区大会は、COVID-19感染防止のためウェビナー及びYouTube配信となりました。



藤原伊丹市長と三木TRF管理委員



会長・幹事会



ロータリー研修セミナー講師
田中久夫氏



ロータリーファミリーの集い
パネルディスカッション



特別講演 講師 山極壽一氏

ロータリーの夕べ

COVID-19の早期収束と一般市民を応援するため、ポートピアホールでロータリー財団奨学生によるサプライズ演奏が行われました（一般公開）



AKA DUO（松岡井菜さん）



佐藤恭子カルテット（佐藤恭子さん）

～公式訪問に随行された、委員各位よりご寄稿頂きました。～

公式訪問 幹事 佐藤 栄一(伊丹)

伊丹クラブは県下の一番西にあることから南、北、東と2680地区の広さを改めて感じました。ガバナーのご希望もあり皆様とはFace to Faceでのご面談のご理解頂きありがとうございました。

我々、随行員もCOVID-19の下ロータリー活動のお勉強をさせて頂き感謝しております。中でも会員数の減少や高齢化、公式訪問など今後のロータリー活動での課題がみえてきたご訪問でもあったように思えます。阪上ガバナーエレクト、宝塚中ロータリークラブの皆様におかれましては、次期活動の一助になりますよう私たちもロータリー活動に研鑽を積みしたいと思います。

随行員代表として厚く御礼申し上げます。

副代表幹事 中島 勝美(伊丹)

8月26日の明石東RCを皮切りに、10月7日龍野RC、同21日尼崎南RC、11月4日和田山RC、同9日川西猪名川RC、翌10日西宮イブニングRC、11日伊丹昆陽池RC、最後に同18日姫路中央RCと計8クラブを公式訪問随行として訪問させていただきました。地域もバラエティに富み、規模や会員構成も異なり、一括りにロータリークラブと呼ばせていただくには、色も風も微妙に違います。この微妙な違いの新鮮な心地良さが体中に満ち溢れて、公式訪問を存分に楽しませていただきました。

それと同時に、吉岡ガバナーのロータリーに対するひたむきな姿勢、ロータリアンとしての矜持に強く感銘を受けた次第です。

皆様、有難うございました。

総務 副幹事 前田 隆則(伊丹)

私は総務副幹事の立場でお手伝いさせて頂きました。

私の希望で、地区内に数多い歴史あるクラブの中から随行したいクラブを申し入れ、その意向に沿って頂きました事を感謝いたします。公式訪問幹事ありがとうございました。

北は香住、南は南淡路、西は姫路、東は尼崎北と14クラブの訪問をさせていただき、各クラブの特色やロータリーに対する思いが一つ一つ違うことを実感し、会員数に関係なく、自分のクラブを大切に思う気持ちが伝わってきました。

このような経験が出来たことを有難く思います。吉岡ガバナー、佐藤栄一公式訪問幹事お疲れ様でした。

公式訪問 委員 下村 典生(伊丹)

2019-20年度入会の私にとって、他クラブを訪問するというだけで緊張の連続でしたが、COVID-19禍にも関わらず、随行で訪問させていただいたどのクラブも温かく迎えていただきました。

COVID-19の影響で様々な行事が中止になり、通常例会もZoomに変わり、親睦活動もほぼ無い中での随行は、入会年度が浅い自分にとっては、車中での会話も勉強になることばかりでした。

以前より、諸先輩方からは「色んなクラブを訪問して勉強したほうが良いよ」とアドバイスをいただいていたのですが、今回の随行で他のクラブを訪問させていただき、伊丹ロータリークラブとの違いや雰囲気を知ることができ、貴重な良い経験となりました。

2月24日(木)◆オンライン

米山記念奨学委員長 **武本 正照**(尼崎北)

吉岡ガバナー、滝澤ロータリー米山記念奨学会常務理事（パストガバナー）、白井代表幹事、古川次期代表幹事、学校関係者14校19名、当委員会14名、合計37名で開催いたしました。

冒頭、吉岡ガバナーより、「ロータリークラブの大きな役割は、国際社会に通じる人材を育成することである。」との挨拶がありました。説明会では、竹内副委員長の司会により進行し、わたくし武本より、学校関係者の方々へロータリークラブ、及び、米山記念奨学事業に

ついてのご説明をし、本事業へのご理解を深めていただきました。その後三宅副委員長より、奨学生の募集方法、及び選考方法を説明し、各校の指導教員の皆様の重要性をご理解していただきました。また、説明会後にはロータリー米山記念奨学事業についてのDVDを学校関係者にご視聴いただき、ロータリークラブへの理解を深めていただくとともに、多くの優秀な学生を推薦頂くようご依頼しました。

米山記念奨学生特集

米山記念奨学生特集掲載にあたり

米山記念奨学委員長 **武本 正照**(尼崎北)

まず、世話クラブの皆様方、また、何よりもカウンセラーの皆様方に改めて感謝申し上げます。2021学年度奨学生におかれましては、日本に残られる方、母国に帰られる方がおられます。1年または2年と短い期間ではありました

が、ロータリーで学ばれたことを生かし、「日本と世界を結ぶ架け橋」として、奨学生の皆様が大きく羽ばたかれることを祈念し冒頭のあいさつとさせていただきます。

～米山記念奨学生からご寄稿いただきました。～



新規奨学生：1年間

マイディンガー、ベサニーリン (米国)

米山奨学生の一年間は、COVID-19の影響によりほとんどのイベントが中止になり残念でしたが、毎月、月初めの例会に行くことをいつも楽しみにしていました。

これからもこの関係を維持させて頂ければと思っています。

世話クラブ：芦屋RC



新規奨学生：1年間

何 佳臻 (台湾)

ロータリーのイベントやクラブの例会に出席することで、様々な分野で活躍している方々の話が聞けて大変勉強になりました。お正月の時、カウンセラーさんのお家に招待されて、初めて本場のお正月気分を満喫できて楽しかったです。

世話クラブ：宝塚中RC



新規奨学生：1年間

ゲン、ゴック クーイン (ベトナム)

去年4月からの奨学生生活はそろそろ1年間が過ぎました。奨学金を頂いて、私にとって、学業の面にしても、生活の面にしても、支えてくれる大きな力になります。感謝の気持ちを皆様に伝えたいと思います。ありがとうございました。ロータリー米山記念奨学会は新たな日本への扉を開いてくれました。奨学生とロータリアンとの交流が多くなって、例会や活動の参加により、ロータリー活動への理解がより深くなり、そうしているうちに、常に奉仕の心をより一層理解できるようになりました。

もっと熱情をもって、日本の先生たちと交流したり、知らない日本の姿を吟味したり、日本とベトナムの架け橋となってもっと努力したいと思います。

世話クラブ：神戸六甲RC



新規奨学生：1年間

呉 晶津 (中国)

奨学生生活を主に3点をまとめることができる。

1点目は日本伝統的な文化を体験でき、更に深く理解できた（歌舞伎文化を体験など）。

2点目は卓話などを通して奉仕活動の報告を聞き、ロータリー精神を更に具体的に了解できた。

3点目はたくさんの学問以外のことを勉強した。例えば、人材育成の重視や環境保護などがある。

ロータリーのおかげで、博士研究を精一杯頑張れ（2冊の論文を出版できた）、社会貢献活動に参加し（赤十字に寄付など）、充実にこの一年間を過ごした。奨学生生活を終わっても、続けて頑張っていきたいと思っている。

世話クラブ：神戸須磨RC



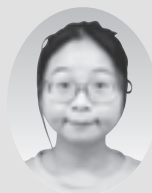
新規奨学生：1年間

簡 文萱 (台湾)

奨学生として最終月に入り、少し寂しく感じました。

振り返ると、カウンセラーの宮岡さんとの日本文化体験はもちろん、今までの卓話で楽しい時間を過ごせました。全くCOVID-19禍で想像もつかない充実した一年でした。感謝の気持ちでいっぱいです。

世話クラブ：小野加東RC



新規奨学生：1年間

羅 娜 (中国)

2021年3月から2022年3月までの一年間は、奨学生として、経済だけではなく、精神的にも支えられている感じがありました。そして、優秀な人と付き合うと、自分も優秀になりたいくなります。本当にありがとうございました。

世話クラブ：姫路南RC



新規奨学生：2年継続の1年目

許 金阳 (中国)

米山記念奨学金のおかげで、私は、学習に集中でき、抗癌剤に関する研究を順調に進めてきました。卒業まであと1年があります。

卒業までに、できるだけ研究に取り組みながら社会貢献し、活躍をしていきたいと思っています。

世話クラブ：尼崎東RC



新規奨学生：2年継続の1年目

李 萌 (中国)

奨学生になって、一年過ぎ最も深く日本に触れた年でした。研究時間の増加だけでなく、例会で、社会人としてのアイデンティティが必要と理解しました。また、カウンセラーから社会と、人と人の接し方を学びました。友人も増え、とても価値ある一年でした。有難うございます。

世話クラブ：西宮夙川RC



新規奨学生：2年継続の1年目

馮 佳譽 (中国)

光陰矢の如し、奨学生になってから充実な一年を過ごしてきた。人とのつながりが減っているCOVID-19禍で、毎月の奨学金をいただいて、何より、人生の先輩である皆さんのロータリアンと出会ったり、共に頑張っている仲間を知り合ったりしたことは、学業の面にしても、生活の面にしても、私を支えてくれる大きな力である。

世話クラブ：三田RC



新規奨学生：2年継続の1年目

孫 之依 (中国)

昨年4月から現在に至るまで、米山奨学生としてご支援をいただき、世話クラブの会員の皆様と一緒に例会に参加できることは、大変貴重な経験になりました。米山記念奨学金のおかげで、研究に集中できるだけでなく、例会で卓話を拝聴することができ、人生の視野を広げることができました。これからもロータリーのイベントに積極的に参加していきたいと思います。

世話クラブ：神戸RC



新規奨学生：2年継続の1年目

王 宵 (中国)

米山記念奨学生になって博士研究に専念することができて、更に日々アルバイトの代わりに地域ボランティア活動に参加できるようになった。また、毎回クラブ例会に参加して卓話を聞いて、自分の見聞を広めたと共に、ロータリーの奉仕精神を深めました。

世話クラブ：加古川RC



新規奨学生：2年継続の1年目

巴音塔娜 (中国)

奨学生になってから10ヶ月の間に、月に一回の例会に出席することによって日本の社会構成、日本の文化に対する認識は前より深くなったと思います。世話クラブの方々との接触によって、日本人の人や物事に対する態度も深く理解しました。

世話クラブ：洲本RC



継続奨学生：2年継続の2年目

ボルフ ヨハンナ (ドイツ)

皆さんが両手を広げて迎えてくれてとても感動し、最初から温かい気持ちでした。最初は少し恥ずかしがり屋でしたが、やがて日本語力に自信が持てるようになり、世話クラブのロータリアンとの交流を通じて、自分がどのように成長してきたかを実感できました。このような経験をさせていただき、日本での生活を支えてくださった米山とロータリーにとっても感謝しています。

世話クラブ：神戸ベイRC



継続奨学生：2年継続の2年目

リマルナ、エリアニグラティアアライニ (インドネシア)

米山奨学生になってから大学の活動に関わる負担がより楽になりました。それだけではなく、以前の奨学金と違ってただお金をくださるではなく、日本の素晴らしい方々とも繋がりを作ることができました。相談したり、話を聞いたり、普通では経験できないものを経験でき大変ありがたく、奨学生になった間の思い出などを大切にしたいと思います。

世話クラブ：神戸垂水RC

2月20日(日)◆宝塚ホテル 宝寿・琥珀の間／オンライン

次期副代表幹事 **木本 玲子**(宝塚中)

三木明ロータリー財団管理委員・元RI理事と吉岡博忠ガバナーにご挨拶を頂いた後、阪上ガバナーエレクトのお話になりました。

阪上ガバナーエレクトは2月7日から15日までCOVID-19禍の為バーチャル形式で開催された国際協議会に参加されました。その様子が会場のスクリーンに映し出され、2022-23年度RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏のお話を通訳を通して拝聴しました。

テーマカラーやロゴマークの意味の説明等、ロータリーの力とつながりを活かしたご自身の体験を紹介されました。

そして会場にはジョン・レノンの「イマジン」が流れ、しばし聞き入り心地よい空気に包まれました。阪上ガバナーエレクトは「一度、歌詞の和訳を調べてみて下さい。」と言われました。(和訳歌詞抜粋挿入)

想像してごらん 国境のない世界を

難しいことじゃないさ

殺すことも死ぬ理由もない

宗教も存在しない

想像してごらん 平和の中で生きているみんなを

君は言うかもしれない

僕をドリーマーだと でもそれは僕だけじゃない

いつか、君も仲間になってくれるといいな

そして世界は一つになって生きていくんだ

(ジョン・レノン／イマジン より抜粋)

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚める時、その世界に変化をもたらせると知っています」と。

ジェニファー・ジョーンズ氏はテーマ「イマジン ロータリー」を発表しました。

ロータリーは世界で良いことをしようを目指す

しています。そしてRI理事会は2023年までに若い女性会員増強を目標に、世界平均に近づきたいとしています。

阪上ガバナーエレクトの行動指針は、“Let's Enjoy Rotary!!” 「共にロータリーを楽しみましょう、ロータリーの明日に夢を込めて」です。

ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) への取り組み、地区運営方針ならびにガバナー補佐、地区委員会の活動についてのお話がありました。

その後、細川次期地区財務委員長による地区の財政と委員会予算案についての説明があり、コーヒープレイクの後、滝澤次期地区研修リーダーから地区チームの責務について詳しいお話がありました。まん延防止等重点措置が発令される中、感染拡大防止のためハイブリッド開催となり、委員会別協議はカットされ、通常の地区チーム研修セミナーより時間を短縮しての開催となりました。



3月13日(日)◆宝塚ホテル 宝寿の間／オンライン

次期副代表幹事 **木本 玲子**(宝塚中)

吉岡博忠ガバナーのご挨拶で「会員のモチベーションを上げることをやってもらいたい、ロータリーの理念を深く勉強して下さい。」とご挨拶を頂戴いたしました。続いて三木明ロータリー財団管理委員・元RI理事に国際ロータリーの動きについて、パワーポイントを使ってお話を頂きました。

阪上栄樹ガバナーエレクトは自己紹介から始まり、My ROTARYのアカウント登録を呼びかけられました。「直ぐにMy ROTARYのラーニングセンターで情報を得て勉強して欲しいです。」と。そして、国際協議会での90分間のビデオの一部が流されて、次年度の国際大会はメルボルンでの開催との説明とテーマロゴのデザインの説明がありました。先住民アボリジニと互いに繋がり、7つの重点分野を表す北斗七星がその周りにあって、その下にあるのは土を掘り起こす棒だそうです。色では、紫はポリオ、緑は環境、白は平和を表していて、これらの色を合わせると女性参政権運動(Suffragettes)の色になるそうです。

また、各クラブにDEI委員会を新たに作って頂きたいとの発表もありました。

阪上ガバナーエレクトの行動指針は“Let's Enjoy Rotary!!”「共にロータリーを楽しみましょう、ロータリーの明日に夢を込めて」ですが、学んでおしゃべりして、それぞれが楽しむ場であります。最後にジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長エレクトのメッセージの動画が再び映し出され、「525.600Minutes(分)のことを考えることにしています。どんな見方をするかは皆さんなのです。可能性を見て下さい。愛情、繋がりを。さあ、ショータイ

ムです!!」男女のクアルテットでジョン・レノンのイマジンを聞かせて頂きました。

細川洋一次期地区財務委員長には地区一般会計予算案のお話を伺い、実りの多い活動にして頂きたいと締めて頂きました。

滝澤功治次期地区研修リーダーは、「RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)と、オンラインで研修を受けるのは同じである、小人数で分科会をする形にして、セッションでアイデアを交換し、やり取りをして、認識を深めていきたい」とおっしゃっておられました。

古川彰治次期代表幹事からは、月信の表紙を尼崎グループから順番にお願いしたいということでした。

阪上ガバナー年度が輝かしいものになりますように、一年間実りある行動にして参ります。



東播第3グループIM

2月19日(土)◆西脇ロイヤルホテル

東播第3グループガバナー補佐 **藤本 武彦**(西脇)

東播第3グループは、2月19日、2年ぶりのIMを開催しました。本来であれば、一同にご参集いただき、大いに親睦を深めたいと考えておりましたが、COVID-19感染急拡大を鑑み、急遽オンラインでの開催となりました。当日は数名のご来賓、当グループ各クラブ会長・幹事様およびスタッフ数名が会場入りし、その他の皆さんにはYouTube

でのライブ配信を視聴していただきました。講師として、最先端のロボット研究者として世界的に注目されている大阪大学基礎工学研究科教授の石黒浩先生をお招きし、「アバターと未来社会」と題してご講演いただき、今後、ますます注目されるロボット社会に関する貴重なお話を聞かせていただきました。



西播第1グループIM

2月19日(土)◆姫路商工会議所

西播第1グループガバナー補佐 **松井 正光**(姫路中央)

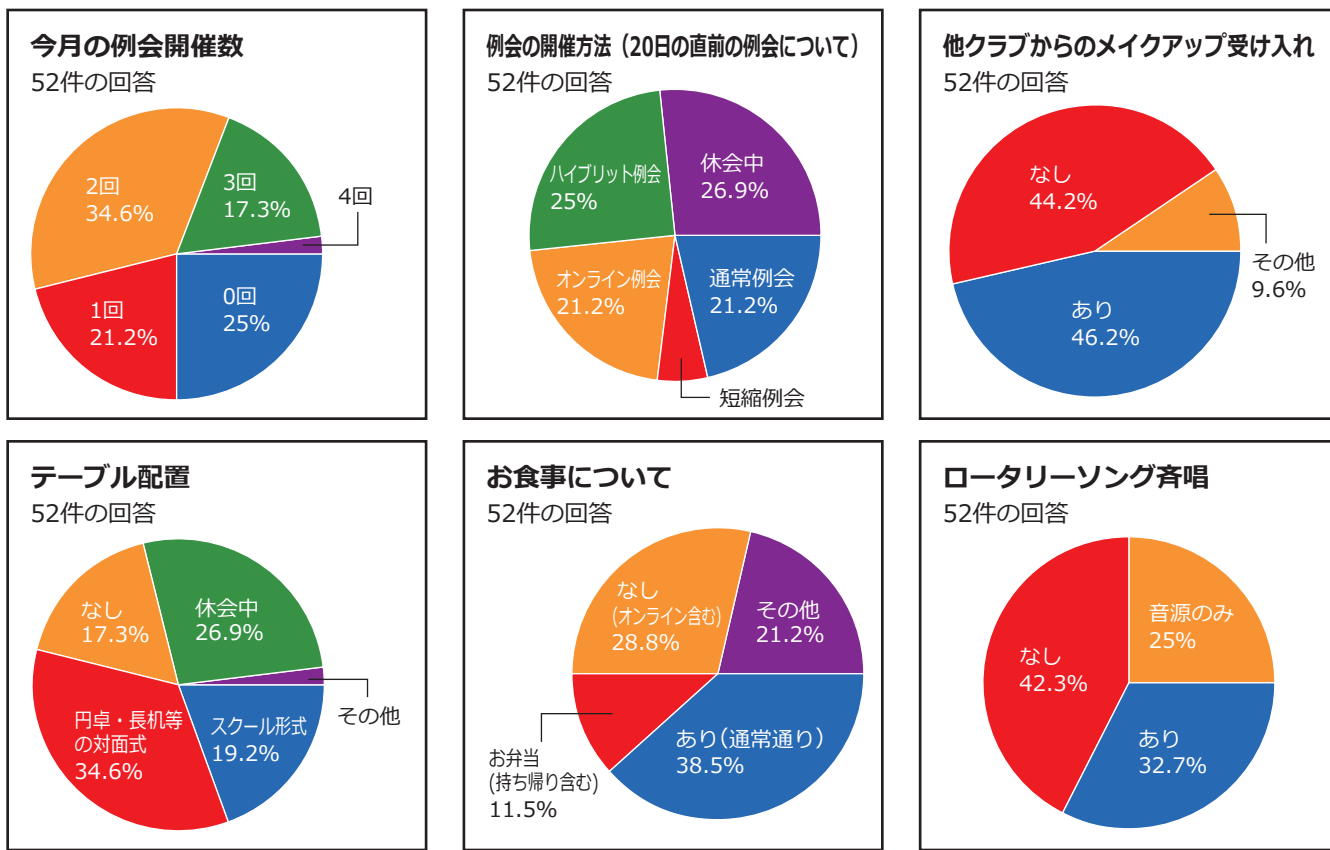
2月19日(土)姫路商工会議所にて西播第1グループ(会員数305名)IMを開催致しました。当初はすべて対面での予定でしたが、今年に入

りオミクロン株の影響を受け急遽、当事者のみ対面、その他全会員すべてリモートでの開催を致しました。



■クラブの運営報告 2022年2月の回答結果

※2022年3月4日現在



※各グラフの少数枠の%は、割愛致します。

★例会の運営、感染防止対策

例会に関して

- ◆検温、マスク着用、手・指アルコール消毒、会場広く、1テーブル／4～5人、歩き回らない
- ◆まん延防止等重点措置が発令された後は、オンライン例会とする
- ◆今までの対策に加え、今回から長机でなく、1テーブル4人までと制限を設けました
- ◆食事は、黙食
- ◆開始前の深呼吸体操を中止、個別飛沫防止透明パーテーション
- ◆換気、消毒、正面にアクリル板設置、弁当持ち帰り、オンライン出席推奨
- ◆ハイブリッド開催のため、開会時間を15分後ろへずらし45分間とする
会場参加の会員のみ例会開始前15分間で黙食にて食事を提供
- ◆事前連絡のある会長幹事の表敬訪問のみ可能
- ◆まん延防止等重点措置期間中休会

※HYOGOロータリーEクラブは例会がホームページ上で行われるため対象外といたします。 ※未回答18クラブ

尼崎南ロータリークラブ

LGBTs (性的マイノリティ) サポート事業

▶10月23日(土)

▶ホテル ヴィスキオ尼崎

プロジェクト予算総額:383,587円 地区補助金額:191,793円

世間一般的には、真剣な出会いの場が少ない性的マイノリティの方々に出会いの場を提供することができた。

LGBTs (性的マイノリティ) サポート事業の参加者17名中、真剣なお付き合いが成立したカップルが1件、もう1件も現在進展中であるという成果があった。

参加クラブメンバーも、特定非営利活動法人MixRainbow藤原直理事の講演を得て、LGBTsがレズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーと4つの単純なものではなく、そんな中にクエスチョニング/クイアと自身の性自認(自分の性を何と考えるか)や性的指向(どんな性を好きになるか)が定まっていなかったり、もしくは意図的に定めていないセクシュアリティの方も居ることが認識できた。

「性は絶対にひとつに決まるもの」という誤解がまだまだ社会に蔓延している中、「男なの? 女なの?」「男が好きなの? 女が好きなの?」という他人からの質問に悩まされている性的マイノリティ当事者が少なくないことを理解することができた。

(文責: 社会奉仕常任委員長 平川 昌哉)



HYOGOロータリークラブ

医療従事者目線からの防災講座

▶9月5日(日)

▶兵庫県理学療法士会事務所(ZOOM配信基地)

プロジェクト予算総額:235,918円 地区補助金額:117,959円

2021年9月5日(日)14:00~15:30 講師中山伸一氏(神戸災害医療センターセンター長)による、医療従事者目線からの防災講座講演会をZoom配信にて実施した。宝塚市の後援のもとアピアホールにて対面開催予定であったが、8月20日緊急事態宣言が発令されたため、急遽Zoom講演会に変更した。Zoom配信基地として兵庫県理学療法士会事務所を無償で提供していただいた。

基地局担当は少数人数3名とし、主に司会進行とZoom操作を担当した。事前登録者は101名、当日参加者は87名であった。参加者は10代から80代、WEBトラブルなく、参加者から多くの質問をいただいた。終了後宝塚市総合防災課から依頼があり、講演会録画を提供した。

(文責: 会長 堤 万佐子)



淡路三原ロータリークラブ

沼島小学校 防災支援活動

淡路島の離島である沼島では、地震・津波などの災害発生を想定した避難訓練が定期的に行われていますが、沼島小学校においては児童への防災教育の充実や、高台のヘリポートへの避難で物資運搬に時間を要することなどが課題でした。

そこで本プロジェクトでは、防災の専門家である関西大学社会安全学部安全研究科の奥村与志弘准教授を迎え、沼島小学校全生徒と保護者を対象に、「安全・安心な未来をつくる」をテーマに防災授業を行いました。また、緊急時に高台へと迅速かつ安全に物資・負傷者の移動を可能とするために電動運搬車を寄贈しました。

プロジェクトが、沼島の子ども達の明るい未来の礎になることを願う一日でした。

(文責：会長 太田 雅之)

▶11月4日(木) 14:30~15:20

▶南あわじ市立沼島小学校

プロジェクト予算総額:112,100円 地区補助金額:56,050円



伊丹ロータリークラブ

マクロ鑑賞が可能な双眼鏡の寄贈による昆虫館再発見

COVID-19の影響下において、展示用ガラスなどを直接触らず、子どもたちに、昆虫や自然の魅力を感じてもらうことをプロジェクトの目的とし、開催することができました。また、マクロ鑑賞が可能な双眼鏡により、伊丹市昆虫館の特徴である「体験」と「魅力」を、充分堪能できる環境を提供することもできました。

「昆虫館再発見」イベントは、2021年12月から年度末まで、数回開催されます。この間、開催毎にアンケートを実施し、プロジェクトのブラッシュアップを図ります。報告者が見学した1月30日は、10名の親子連れを主体とした参加があり、子どもたちが双眼鏡を手に、蝶が蜜を吸う様子や、ニジイロクワガタの様子を観察していました。新たな体験、発見を通じて、子どもたちの笑顔が溢れるプロジェクトとなりました。双眼鏡はCOVID-19収束後も引き続き、観覧者に貸し出されます。

(文責：幹事 岩井 秀樹)

▶2022年1月30日(日)

▶伊丹市昆虫館

プロジェクト予算総額:528,900円 地区補助金額:264,450円





「Think global Act local」をテーマに、「ロータリー奉仕デー」の企画／2021年度

「ロータリーコーディネーター」の仕事は、会員基盤部門だけに限らず、「ロータリー活動そのものの活性化をコーディネートする仕事」と理解して、地区研修リーダーとして、地区・地区内クラブの運営や事業計画立案に関わる時は、「クラブ活性化（即ち会員増強）」は、「ロータリー財団補助金を積極的に使用する奉仕PJ」を実施して、そのPJを「ロータリー活動の広報とイメージアップ向上のために、PJ実施前後の対外広報活動の準備」を三位一体の基本として計画してきました。

然し乍ら、日本の会員として共通する問題でもあると思いますが、以前の「ロータリー財団6つの重点分野」では、自分たちの身近な問題として捉え難かったことは否めません。

そんな折に、「環境」が7つ目の重点目標に追加され、然もシェカール・メータRI会長は「ロータリー奉仕デー」の実施を呼びかけられたので、2700地区としては、2020年度から取り組んでいる「環境保全活動」と「ロータリー奉仕デー」をジョイントする事を、今年度の地区の奉仕デー方針「Think-global Act-local」とし、地区内61全クラブ参加の「ロータリー奉仕デー」を開催しました。他地区の参考にでもして頂ければ幸甚と思い紹介いたしました。

2700地区が2020年度より参加している「宗像国際環境会議」に、「2700地区ロータリークラブ」として参加し、当地区奉仕デーの事業を「宗像国際環境会議のField-work」とし、地区会員を対象とした「会員対象の環境保全研修会は福岡市内研修会場」と「地区内61の全クラブ」と「宗像国際環境会議会場」をオンラインの同時進行のハイブリットで実施し、しかも一部の講演等は「Facebook」で同時に世界発信し、「宗像国際環境会議」のページにて参加出来るようにしました。

1月のRI会長方針を受けてからの、地区内全クラブを対象とした急な対応となったので、2月からの準備を時系列に紹介します。

1. 地区研修委員会と社会奉仕委員会・ロータリー財団委員会にて詳細検討
2. 地区研修委員7名全員を地区内7グループの担当とし、7名のガバナー補佐を支援することとし、「ロータリー奉仕デー対策 ガバナー補佐会議」を数回開催。
3. PETSの全体会議にて「地区奉仕デーの概要説明と財団補助金等の適応説明」「グループ別会議」全体会議にて「各グループの行動予定」と「事前、事後の対外広報計画の説明」。
4. 地区研修・協議会にて、約800名の会員に「2700地区ロータリー奉仕デーの意義」を再度説明。
5. 地区内7グループの活動は未だ進行中のPJもあるので最終的な総括は出来ていませんが、6グループが終わった段階で、地区会員総数（約3200名）の倍以上の参加人数です。
6. このPJは、12月5日に東京で開催された「ロータリー財団地域セミナー」にて、「第3地域の事業例」として報告する栄誉も賜りました。

この事業は地区内会員や一般の方の多くの賛同と参加を得たので、2022年度は更にバージョンアップして、下記のような事業を計画し、既に準備が進んでいます。

「クラブ活性化」のために「会員基盤向上部門」「公共イメージ向上部門」と「ロータリー財団部門」の3部門合同の「クラブ活性化奉仕PJ」の企画2022年度

1. 「クラブ活性化セミナーを今年6月に開催する」
担当委員会は会員基盤向上部門・広報・公共イメージ向上部門・ロータリー財団部門の3部門とする。
2. 「オープン例会Week」の開催
会員基盤向上部門は、7月から8月にかけて、地区全61クラブを対象とした1or2週間の「オープン例会Week」の開催を働きかける。
オープン例会の出席対象者は、1. 会員候補者 2. 会員事業所の社員 3. 会員家族 4. マスコミ関係 5. 等々で、出席者の食事代金は、地区負担する。
3. 「2700地区の取り組む環境保全」の映像を作成し、オープン例会時の全てのクラブの卓話時間に使用する。
映像は、「国際ロータリーの紹介・国際ロータリーの環境保全活動・2700地区の環境保全活動」の内容の30分映像を、地区研修委員会が作成する
4. 「地区環境保全奉仕デー」は、2021年度を参考にして、地区社会奉仕委員会が主管で「宗像国際環境会議」とコラボして9月～11月の間に実施する。
5. 「オープン例会」と「地区環境保全デー」は、公共イメージ向上部門が事前・事後の対外広報を周到に準備する。
6. 「地区環境保全PJ」に関わる費用は、「ロータリー地区補助金」と「地区事業補助金」の対象となることをロータリー財団委員会は周知を図る。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫（宗像RC）



第3地域戦略計画セミナーについて

ロータリーを発展させるためには、ロータリーの「ビジョン声明」にあるように持続可能なよい変化を生むために、そしてロータリーが社会の変化に適応し、社会から必要とされる団体として認知されなければなりません。

また、ロータリーの戦略計画に3つの優先項目が決められ、「公共イメージと認知度の向上」、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であることはご存知の通りです。

この3つの項目を連携することによって会員基盤向上につながるようになります。現在は4つの優先項目に変わり「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ための行動計画を推進することになっています。

第3地域では、ロータリーコーディネーター（RC）、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）の地域リーダーが共同で新年度が始まって早い時期（7月第一週か第二週の土曜日）に毎年交代で担当をつとめ「戦略計画推進セミナー」を開催しています。

このセミナーのプログラムは、各地区 ガバナーによる地区方針の発表、前年度に実施された公共イメージ向上につながる奉仕活動をメディアで報道された様子を含め有効な参考事例として紹介することを中心に構成し、かつ各地区ガバナーの交流の場として運営しています。

しかし、RC、RRFC、RPICの活動の認知には至っておらず、地区の研修会などで発表する機会が少ないのが現状です。

RC、RRFC、RPICは3人の地域コーディネーターとそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非お声がけください。

クラブの会員増強と活性化につながることのお手伝い出来るように準備をしています。

オミクロン型コロナ感染拡大によってまだまだ不透明な環境ではありますが、国・行政の指針を守り、しっかりと予防対策をすることによって「一日も早く、大切な人達と安心して会える日常に戻りますこと」を願っています。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 片山 勉（大阪東RC）

◆2月の地区活動記録

日 時	行 事 名	場 所
4(金) 17:00~19:00	第6回補助金小委員会	オンライン
5(土) 8:00~17:00	【中止】米山日本文化セミナー	未定
6(日) 9:30~17:00	RLI パートⅡ	オンライン
12(土) 13:30~15:30	第3回全国RYLA研究会地区実行委員会	神戸三宮東急REIホテル オリーブ
13(日) 10:00~12:00	第7回青少年交換小委員会	オンライン
17(木) 16:00~18:00	第3回地区運営会議	ガバナー事務所会議室
20(日) 13:00~16:10	2022年地区チーム研修セミナー	宝塚ホテル 宝寿・琥珀
24(木) 15:00~16:30	2023学年度米山記念奨学金学校説明会	オンライン
16:00~16:30	【中止】第3回ガバナー指名委員会	ガバナー事務所会議室
17:00~18:00	【中止】第3回ガバナー諮問委員会	神戸ポートピアホテル ルビー
25(金) 16:00~18:00	【延期】第1回資金推進・ポリオプラス・ロータリーカード推進合同小委員会	神戸三宮東急REIホテル ボールルームB
17:30~19:00	第7回職業奉仕委員会	オンライン
26(土) 15:30~17:00	第1回ガバナー補佐意見交換会	神戸ポートピアホテル のじぎく
16:00~17:45	【中止】第3回社会奉仕小委員会	神戸ポートピアホテル パール
27(日) 10:00~12:00	第3回インターアクト小委員会	神戸三宮東急REIホテル ローズ/オンライン
18:00~19:00	第5回会員維持増強委員会	オンライン
18:00~19:30	第9回RLI小委員会	オンライン

新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

尼 崎 東



山本 伸司
ITコンサルタント
2/16入会

尼 崎 西



別府 建一
不動産仲介業
2019/11/26入会

ご寄付ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

財団メジャードナー



阪上 栄樹
(宝塚中)

ポール・ハリス・フェロー



小谷 圭
(神戸東灘)

米山功労者(7回)



舟元美智子
(神戸東灘)

米山功労者(6回)



武部 恭一
(尼崎東)

米山功労者(5回)



後藤 武
(神戸)



望月 真人
(神戸)

米山功労者(2回)



木村 長和
(尼崎東)



田中 正喜
(尼崎東)

米山功労者(2回)



今津 由雄
(神戸)



小山 敬
(神戸)



中林 淳
(神戸)



尾山 基
(神戸)

米山功労者(1回)



近 知史
(尼崎東)



土井 正孝
(神戸)

米山功労者(1回)



日笠 秀樹
(神戸)



木下 学
(神戸)



松岡 辰弥
(神戸)



佐井 裕正
(神戸)

ガバナー事務所からのお知らせ

◆クラブ事務局 移転の件

尼崎ロータリークラブ・尼崎東ロータリークラブ 事務局 住所変更

〒660-0882 尼崎市昭和南通3-26 尼崎松本ビル405

電話：06-6411-1200 FAX：06-6411-4340（電話・FAXは変更ありません。）

尼崎ロータリークラブ 事務局

新メールアドレス：amarc@kind.ocn.ne.jp

尼崎東ロータリークラブ 事務局

新メールアドレス：amerc@kind.ocn.ne.jp

※アドレス入力間違いにご注意ください。

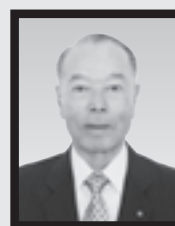
ご冥福をお祈り申し上げます



故 薮内 勝 氏(川西)
2月8日 享年83
(名誉会員)



故 関 孝行 氏(赤穂)
2月15日 享年81



故 河合 敏三 氏(神戸西神)
3月12日 享年91

国際ロータリー第2680地区 2022年2月会員数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数											グループ	クラブ名	例会数	会員数													
			7月1日(期首)		2月の入退会		2月末		本年度累計								7月1日(期首)		2月の入退会		2月末		本年度累計							
			総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	うち女性	退会	うち女性	増減				うち女性	総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	うち女性	退会	うち女性	増減	うち女性	
尼崎	尼崎	4	32	1	0	0	32	1	0	0	0	0	0	東播第一	明石	2	50	1	0	0	56	3	6	2	0	0	6	2		
	尼崎北	1	41	0	1	0	41	0	1	0	1	0	0	明石東	2	44	2	1	0	45	2	1	0	0	0	1	0			
	尼崎東	3	49	1	1	0	53	2	5	1	1	0	4	明石北	0	39	0	0	0	41	0	4	0	2	0	2	0			
	尼崎西	3	35	2	0	0	35	2	1	0	1	0	0	小計		133	3	1	0	142	5	11	2	2	0	9	2			
	尼崎南	4	30	4	0	0	31	4	1	0	0	0	1	高砂	2	36	2	0	2	34	2	1	0	3	0	-2	0			
	尼崎中	0	19	2	0	0	19	2	0	0	0	0	0	加古川	1	71	0	0	0	73	0	3	0	1	0	2	0			
小計			206	10	2	0	211	11	8	1	3	0	5	1	東播第二	加古川中央	4	59	0	0	0	58	0	0	0	1	0	-1	0	
阪神第一	伊丹	4	43	0	0	1	41	0	0	0	2	0	-2	高砂青松	2	39	2	0	0	40	2	1	0	0	0	1	0			
	川西	3	24	4	0	0	23	4	0	0	1	0	-1	加古川平成	3	15	1	0	0	15	1	0	0	0	0	0	0			
	伊丹有明	0	11	0	0	0	10	0	0	0	1	0	-1	小計		220	5	0	2	220	5	5	0	5	0	0	0			
	川西猪名川	0	14	3	0	0	15	3	1	0	0	0	1	三木	3	48	1	0	0	48	1	0	0	0	0	0	0			
	伊丹昆陽池	0	7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	小野加東	2	47	1	0	0	46	1	2	0	3	0	-1	0			
	西宮イニング	2	15	5	0	0	15	4	1	0	1	1	0	北条	0	35	2	0	0	34	2	0	0	1	0	-1	0			
小計			114	12	0	1	111	11	2	0	5	1	-3	-1	東播第三	西脇	3	44	0	1	0	47	0	3	0	0	0	3	0	
阪神第二	西宮	4	53	0	0	0	53	0	1	0	1	0	0	三木みどり	3	21	1	0	0	23	1	2	0	0	0	2	0			
	芦屋	3	39	0	1	0	40	0	2	0	1	0	1	小計		195	5	1	0	198	5	7	0	4	0	3	0			
	甲子園	3	41	3	0	0	43	3	2	0	0	0	2	洲本	3	31	1	0	1	29	1	0	0	2	0	-2	0			
	西宮夙川	2	31	2	0	0	31	2	0	0	0	0	0	南淡路	0	31	4	0	0	31	4	0	0	0	0	0	0			
	芦屋川	4	26	3	1	0	27	4	1	1	0	0	1	淡路三原	0	15	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0			
	西宮恵美寿	4	21	4	0	0	22	4	1	0	0	0	1	津名	0	33	0	0	0	35	1	2	1	0	0	2	1			
小計			211	12	2	0	216	13	7	1	2	0	5	1	淡路	あわじ中央	1	22	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	
阪神第三	宝塚	2	14	1	0	0	12	1	0	0	2	0	-2	小計		132	5	0	1	132	6	2	1	2	0	0	1			
	三田	3	19	0	0	0	18	0	0	0	1	0	-1	姫路	4	78	1	0	1	76	0	4	0	6	1	-2	-1			
	篠山	2	44	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	姫路南	4	74	0	0	0	75	0	1	0	0	0	1	0			
	柏原	3	42	0	0	0	41	0	0	0	1	0	-1	姫路西	1	58	1	0	0	58	1	0	0	0	0	0	0			
	宝塚武庫川	2	34	2	0	0	33	2	0	0	1	0	-1	姫路东	4	61	4	0	0	62	4	4	0	3	0	1	0			
	三田南	2	8	0	0	0	7	0	0	0	1	0	-1	神崎	1	27	0	0	0	28	0	1	0	0	0	1	0			
神戸第一	宝塚中	2	26	5	0	0	28	5	2	0	0	0	2	姫路中央	2	4	0	1	0	5	1	1	1	0	0	1	1			
	HYOGO REC	5	19	3	0	0	18	2	0	0	1	1	-1	小計		302	6	1	1	304	6	11	1	9	1	2	0			
	小計			206	11	0	0	201	10	2	0	7	1	-5	-1	西播第二	赤穂	3	33	0	0	1	32	0	2	0	3	0	-1	0
	神戸	3	150	1	0	1	156	2	11	1	5	0	6	相生	0	29	2	0	0	31	2	3	0	1	0	2	0			
	神戸東	2	111	1	0	0	110	1	2	0	3	0	-1	龍野	4	40	5	0	1	36	4	0	0	4	1	-4	-1			
	神戸東灘	4	31	6	0	0	31	6	0	0	0	0	0	上郡佐用	0	26	7	0	0	26	7	0	0	0	0	0	0			
神戸第二	神戸南	4	86	0	0	0	87	0	1	0	0	0	1	小計		128	14	0	2	125	13	5	0	8	1	-3	-1			
	神戸六甲	0	15	1	0	0	15	1	0	0	0	0	0	豊岡	0	36	0	0	1	33	0	0	0	3	0	-3	0			
	神戸ベイ	1	14	1	0	0	13	1	0	0	1	0	-1	生野	0	22	0	0	0	22	0	1	0	1	0	0	0			
	小計			407	10	0	1	412	11	14	1	9	0	5	1	香住	1	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	
	神戸西	3	57	8	0	1	57	8	1	0	1	0	0	豊岡円山川	0	29	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0			
	神戸須磨	3	32	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	和田山	0	23	2	0	0	21	1	1	0	3	1	-2	-1			
神戸第一	神戸垂水	0	24	6	0	0	25	6	1	0	0	0	1	小計		122	2	0	1	117	1	2	0	7	1	-5	-1			
	神戸西神	4	35	2	0	0	34	2	0	0	1	0	-1	合計		71RC	2,583	119	7	11	2,592	121	78	7	69	5	9	2		
	神戸中	3	33	4	0	1	30	4	0	0	3	0	-3																	
	神戸モーニング	3	26	4	0	0	25	4	0	0	1	0	-1																	
小計			207	24	0	2	203	24	2	0	6	0	-4	0																

◆クラブ数…………… 71RC
 ◆2021年7月1日 クラブ会員数……………2,583人
 ◆2022年2月末 クラブ会員数……………2,592人

◆2022年2月末 女性会員数…………… 121人
 ◆期首からの増減…………… 9人増
 ◆期首からの女性増減…………… 2人増